

地震に備えて
対策しましょう

木造住宅・ブロック塀等の耐震化を支援

木造住宅の耐震診断員を派遣

木造住宅の耐震化を促進するため、市が派遣する診断員が耐震診断を行います。

▼対象住宅 市内にある、次の要件①～③の全てに該当する木造住宅

①昭和56年5月31日以前に建築されたもので、原則、昭和56年6月1日以降に増改築されていないもの

②一戸建ての専用住宅または併用住宅で、地上階数が2以下のもの

③在来軸組構法または伝統的構法によって建築されたもの

▼対象者 対象住宅を所有する人またはその親族（法人を除く）

▼診断費用（申込者負担） 1万1,000円（延べ面積が200㎡以下の場合）

▼募集戸数 3戸程度（先着順）

▼申請方法 6月3日（月）～11月29日（金）に事前相談の上、必要書類を提出してください。

木造住宅耐震改修補助金

木造住宅の耐震化を促進するため、耐震改修工事または建て替え工事、除却工事に要する経費の一部を補助します。

▼対象住宅 市内にあり、上記（木造住宅の耐震診断員を派遣）の対象要件①～③と、次の要件④の全てに該当する木造住宅や空き家

④耐震診断または簡易耐震診断により、倒壊する可能性があるとして判定されたもの

※今年度から、建て替え工事と除却工事の場合に限り、住宅の耐震性を簡易耐震診断で確認してもよいことになりました。

▼対象者 次の①・②のいずれにも該当する人

①対象住宅を所有する人またはその親族で、当該住宅に居住する予定の人など（法人を除く／除却する場合を除く）／②令和5年度から交付申請時まで個人住民税等の滞納がない人

▼対象工事 市内に本店を有する施工業者等が行う次のA～Cのいずれかの工事

A. 耐震改修工事

B. 対象住宅を除却し、同一敷地内で行う建て替



建て替え・除却
工事も対象！



え工事

C. 対象住宅を除却する工事

▼補助金額 補助対象経費の23.0%以内（上限額は、A・B = 100万4,000円、C = 20万円）

▼募集戸数 1戸～5戸程度

▼申請方法 6月3日（月）～28日（金）に事前相談の上、必要書類を提出してください。

※応募多数の場合は抽選で決定（抽選日は7月12日〈金〉を予定）／予算に達しなかった場合は、追加で申請の受け付けを行います（先着順で決定）。

ブロック塀等耐震改修補助金

ブロック塀等の耐震化を促進するため、耐震改修工事または除却工事に要する経費の一部を補助します。

▼対象となる塀 通学路などの避難路沿道にあり、耐震診断の結果、不適合の項目があった塀等

▼対象者 対象となる塀の所有者またはその親族で、令和5年度から交付申請時まで個人住民税等の滞納がない人（法人を除く）

▼対象工事 市内に本店を有する施工業者等が行う次のA・Bのいずれかの工事

A. 耐震改修工事

B. 対象となる塀を除却する工事

▼補助金額 補助対象経費の3分の2以内（上限額は24万円）

▼募集件数 7件程度（先着順）

▼事前協議書の受け付けおよび補助金申請期間

6月3日（月）～11月29日（金）

▼申請方法 まずは事前協議書を提出してください。市職員が事前協議書を基に、現地調査を実施します。その結果、補助対象と決定した場合のみ補助金の申請ができますので、必要書類を提出してください。

補助金の交付決定前に、契約・着手した工事は対象外／各申請書は市ホームページに掲載しているほか、建築指導課（市役所3階）で配布しています／記載内容のほかにも条件がありますので、希望者は事前にお問い合わせください。

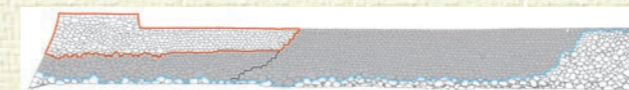
■問い合わせ・申請先 建築指導課指導・審査係（☎40-7053）

弘前城石垣修理

第24回 ～石垣積直し工事は終盤に～

令和3年6月23日より開始した弘前城跡本丸東面の石垣積直し工事は、4年目を迎えます。

今年は5月13日から工事を再開して、残り549個の石を積み直す作業に取りかかっており（※1・※2）、今年度中には解体した2,185石すべての積み直しが完了する予定で、石工（いしく）職人による石垣積み直し作業を見ることができるよう、残りわずかとなります。



▲（※1）令和6年度の工事範囲（赤線で囲まれた部分）



▲（※2）本丸東面石垣工事現場（令和6年4月23日時点）

仕上りの勾配（こうばい）を示す丁張（ちょうはり）に合わせて一石ずつ積んでいく様子（※3）や、割れた石の補修（※4）、交換する石の加工（※5）など、石工職人が作業を行っている天守台周辺エリアは下乗橋や二の丸展望デッキからよく見通すことができますので、この貴重な機会を逃さないよう、一度は間近で見学・体感していただきたいと思えます。



▲（※3）丁張（ちょうはり）と石積み作業



▲（※4）割れた石の補修 ▲（※5）交換する石の加工

9月頃からは、天守基礎耐震補強として設置する、長さ35メートルの杭4本のうち、西側に当たる2本の設置箇所について、石垣積直し工事と並行しながら直径2.5メートル・深さ約4メートルの範囲を掘削し、地下遺構などの発掘調査を行います。

この調査結果次第で、天守基礎の耐震化工事に着手する時期が定まることになります。

そのほか、今年度は天守を石垣上に曳（ひ）き戻す方法について、具体的かつ詳細な設計に取りかかります。天守基礎の耐震化を含め、今後の工事の進捗状況については、次回（連載第25回）にお知らせする予定です。

市ホームページには、弘前城本丸石垣修理事業の詳細や弘前城跡の文化財修理・史跡整備情報『弘前城かわら版』を掲載しています。ぜひご覧ください。

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前市緑の相談所内、☎33-8739）



▲弘前城本丸
石垣修理事業



▲弘前城
かわら版